# 翔生（しょうせい）

YEG

発行 全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03－3283－7487

編集 広報委員会
[illegible]

平成10年（1998年）3月増刊号


Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野をもった経営者＝Youth, Energy, Generalist）を表しています。

## 北海道ブロック 登別大会

### 無限の創造！最大の行動力！ ＹＥＧ新たなる挑戦

平成9年9月4日・5日の両日、全国のトップを切って北海道ブロック大会が日本有数の温泉地登別で開催されました。道内外合わせて約[illegible]名の登録をいただきありがとうございました。日本の新時代を築く新鮮なアイディアを持ちチャレンジ精神を最大の行動力として大会を進めてまいりました。4日は郷土芸能「鬼舞」のオープニングで式典を開会し、記念講演は北の大地からのメッセージ「人と木と緑へのおもいやり」をテーマに[illegible]であります[illegible]氏の講演を市民にも公開して開催されました。懇親会では会場を登別温泉のイメージで飾り付け、参加者役員には地獄祭パレードで使用するエンマの衣装で登場していただき、なごやかに交流を深めていただきました。5日の三分科会では、「北海道経済の今後と中小企業の在り方」と「疲れを明日に残さないリラックス健康入浴法」のそれぞれのテーマで地域の専門講師から講話をいただき研修を、もう一つの分科会は「21世紀に向けた若主の[illegible]」、自然と調和する産業は水が基本にをテーマとして市内企業視察研修を実施しました。今大会は[illegible]を出した意義ある大会であったと思います。登別YEGの組織には大変お世話になりました。

# 『伸びゆく大地』に隠された秘密!?

皆さんは、我々YEGの歌である「伸びゆく大地」の作詞者と作曲者の名前をご存じだろうか？

もちろん、頭は言語が答えるであろうが、それを作られた方達の名前となると、即座に答えられるメンバーは、いないに等しいと思われる。

去る12月2日、神奈川県連の小田原YEGの尽力により、作詞者である石井耕二氏と作曲者の石井歓氏、そして、大村、村井の正副会長及び水川専務との歴史的な対面式、懇談席を一堂する石井歓氏の宿舎にて、取り行なわれた。あまり歴史的なという大げさな表現を使ったのは、作詞者と作曲者がお会いになるのは、正真正銘今回が初めてだからである。

この歌は、昭和61年度を国大会開催大会にて発表され、以来、我々メンバーに口ずさまれてきたが、実は「作詞者は賞金稼ぎであった？」とか、我々の歌っている歌はオリジナルとは違う！？といった衝撃的な事実が明らかとなった。

この対談は、「石垣」に掲載の予定である。ぜひともご一読を頂きたい。

## 四国ブロック 三島大会

### ＹＥＧカーニバル 紙ing伊予三島

第14回四国ブロック大会は、去る9月20日(土)・21日(日)に伊予三島YEG主管のもと愛媛県伊予三島市で開催され、約600名の四国四県のYEGメンバー・商工会議所役員が参集する中、盛況裡に幕を閉じました。

大会初日は、エキスカーションとしてゴルフコンペ、伊予三島市の観光見学バスツアーが行われ、参加者それぞれが楽しいひとときを過ごされたと思います。同日伊予三島保安会館において大懇親会が開催され、それぞれが名刺交換を始め、くつろいだ雰囲気の中お互いの交流を深めました。特に大懇親会の中での、“コスチュームパーティー”と伊予三島YEG有志の紙踊りを本番で踊りまわったことは、皆さんハメを外し、とても楽しんでいただけたと思います。特に商青連の役員の方々は、コスチュームパーティーを楽しんでおられました。

大会2日目は、開催地のテーマ「YEGカーニバル紙ing伊予三島」にのっとり、伊予三島の産業である紙にちなんだ分科会および催しものを行いました。グランドではメンバー手作りの紙気球をあげ、一般市民にも大会を開放し、水引細工・紙すき体験コーナーなど、当地の主産業を理解していただいたと同時にとても勉強していただいたものと思います。

特に式典後に行った、大会のメインであるイグナムが当たる大抽選会は大変な盛り上がりようでした。

この大会を主管し準備する中で、伊予三島YEGのメンバーが一致団結し、会長無理で大会を成功させたことを思い起こします。この経験はたいへん貴重なものであったことと察し、さらなるYEG活動に繋栄されることと確信しております。

## 東北ブロック 古川大会

### 「ゆめの音」「ゆめの色」「ゆめの街」 夢から実現へ出発!!

「私はYEGとして、夢に挑む」で始まるYEG宣言。自分の企業を良くしたい！活力あふれる住みよいまちをつくりたい！YEGメンバーの数だけ夢があります。第18回東北ブロック大会古川大会は、その夢の実現に向けて立ち上がらんとする私たちの、若さと情熱を象徴するかのような素晴らしい「夢の楽団」の演奏で幕を開けました。（写真）

人口約7万人、「人・まち・自然の文響都市」を掲げる古川市は、隣接する仙台市の圧倒的なイメージとパワーに負けまいと、独自性の創造に必死です。今回はそのような中で活躍する古川YEGの、若さと行動力と感受性を最大限アピールする大会となりました。また古川市の重要人たちは、式典・分科会のスケジュールをきっちりとこなし、懇親会では会場の寒さ（？）も手伝いして、盛んに交流を図っていました。更に特記すべきは、宮城県内各YEGの絶大な支援があったことです。単会主催でブロック大会の基本形を見る思いでした。心に残る、そして明日につながる感動の大会をありがとうございました。

## 近畿ブロック　兵庫大会

### よってこって華彩・青年部パワー炸裂！

今年度、第15回近畿ブロック兵庫大会は、8月8日兵庫県の加西市で開催されました。式典会場は、加西らしく壇上は花いっぱいにセッティングされ、素晴らしい幕開けとなり式典も華麗らしいリズムで進行され、続く記念講演は、宇野正和氏による講演。続いての分科会議では、YEGメンバーによるパネルディスカッションが行われ、今年度役員連テーマである「近畿交流・創意実践・連携そして共生」「YEGが新たなる出発」のもとに、貴重な意見について熱く語って頂きました。会場の外では、大物産展、ビジネス交流プラザが開催されて、あいにくの雨にもかかわらず多数のお客様でにぎわいました。

そして、最後の懇親会では、近畿各地より参加したYEGメンバーが語り合い交流を深めていただき無事終了することができました。

開催YEGメンバーをはじめとして関係各位の皆様に感謝致しましてブロック大会の報告をさせていただきました。ありがとうございました。

## 関東ブロック　深谷大会

### 彩の国　歴史に学ぼう　青淵の郷で

第17回商工会議所青年部関東ブロック大会深谷大会は、去る10月26日（日）に深谷YEG主管のもと埼玉県深谷市で開催され、1229名の関東ブロック内外YEGメンバー・商青連役員の登録をいただき、無事盛会裡に終了することが出来ましたことを先ずは御礼申し上げます。

本大会は、第一部の式典と続き、第二部でYEG大会の目玉であります「ファッションフェスティバル」を盛催いたしました。このファッションフェスティバルは、深谷市の地場産業である繊維業の紹介と活性化を目的に、モデル・スタッフ・音響等は、すべて一般市民とYEGメンバーで行いました。また、懇親会場の装飾に深谷青果市場会で作った「香積おこわ」と深谷おかみさん会の手作りの「にぼうと」を食べていただき、とても好評でした。

本大会の運営にあたり、何よりも主管単会の達成感と団結が図れ、関東ブロック内会員同士の連携及び交流の輪が広がったことが、この事業の大きな意義があったと感じております。

最後に、多大なるご協力を賜りました関係各位とご参加いただきました会員の皆様の友情に深く感謝申し上げます。

## 中国ブロック　岡山大会

### バンザイ！　岡山で会えてよかった！

大会テーマ「バンザイ！岡山で会えてよかった！」のもとに、10月17日中国ブロック岡山大会が開催された。厳粛な式典の後、吉本興業大村政雄常務が「全国吉本化計画」と題して、楽しい実のある記念講演を。分科会では、インターネットを駆使した「電脳YEGマーケット村」と、築城四〇〇年を迎えた岡山城を見上げるお堀での名園後楽園との二会場において、YEGに相応しいビジネスのあり方、歴史、文化を気軽に体感して頂いた。

講演と分科会の間は、温泉付に楽しい楽観会、会場に「お入るとそこは岡山味大山岡」…書面口口看を響き渡れ、岡山のメンバーが全員将棋でお出迎え。商青連大村会長が狩家、岡山の西でお会長が岡山城主、それに続けと水戸のご老公、熱方、妄宅、小町、網っ引きに変幻まで登場。中でも圧巻は、若者獅子の衣装を披露された商青連木田専務理事と、お国ことば大阪支行委員長が率いる総勢一三六名の集まり中の面々であった。我にも有にも楽しい楽しい宴で夜は更け、再会を誓いあった。

## 東海ブロック　久居大会

### 来て、見て、感じて　久居の湯と街

もてなしの心から、新たなる連携と共生へ！

第10回東海ブロック大会は、10月5日（日）三重県久居市において清少納言ゆかりの日本三名湯の一つ、榊原温泉と陸上自衛隊久居駐屯地をメイン会場として、久居YEGの主管により開催されました。

初日の東海ブロック会長会議では、懸案でありました東海ブロック懇談会（仮称）の設立予算が可決され、翌年度、分科会も大いに盛り上がりました。

当日の式典では、10回目の節目ということで、歴会総会時に歴代三会長を迎の労をねぎらい、大会記念誌つも当時の写真とともに展示しました。

第一分科会は「もてなしの心」の講演と名湯見学、第二分科会は「中小企業委員会の記念」の講演と自衛隊内見学という内容で、特に自衛隊体験と隊内見学は好評でした。大懇親会は隊内食堂を使い、自衛隊ラッパ隊演奏のオープニングに始まり、駐屯地司令の挨拶のあと、思いもよらないキンパクダンサーが、大いに場内を盛り上げるという趣向を試みました。

「来て見て感じて久居の湯と街」のサブタイトルのもと、少数精鋭の久居YEGメンバーの手作りの心温まる大会になったと自負しております。予想を上回る1000名を越す登録を頂き、無事成功裡に終了することができましたことを御礼申し上げます。

## 九州ブロック　中津大会

### 「独立自尊」自由奔放　福沢精神　今ここに

平成9年9月20日中津YEGの主管で開催された九州ブロック大会は、近代日本経済の指導者、福沢諭吉の出身地ならではの大会テーマ「独立自尊・自由奔放・福沢精神　今ここに」と充実した内容で展開されました。

一日開催のプログラム故に凝縮された式典とアトラクションあるスピーディーな進行は、事前準備の周到さを感じさせられました。1000人を越える登録者を迎える会場もバラエティーに富み、東京会館でのプリーマーケットや歴史探訪コースの設営、ぶ賞アンサンブル「中津姫隊」体験探検そして総国政行政によるタイムキーを記念講演などのコンベンションと各部会の上手な融合の、わずか34名の実行委員会とは思えない進行さと暖かさった演出となりました。

地方や他のハンディーを情熱と誠実と実行で克服できる青年部のあるべき姿を披露でき、主管青年部の中津YEGの皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

## 北陸信越ブロック　新発田大会

### こんにちは!!

第17回全国商工会議所青年部連合会北陸信越ブロック新発田大会は平成9年9月13日（土）に新発田商工会議所青年部主管のもと、多くの青年部会員が集い盛大に開催する事が出来ました。ここに改めて関係各位に厚く感謝申し上げます。

新発田大会は、新発田商工会議所青年部の若い会員が智恵を絞りあうにあたり連日連夜打ち合せを重ね無事新発田大会を成功させました。

式典前の白太鼓演奏は見事でしたし、三分科会も新発田市の町並みを通して大変な盛況でした。

自衛隊新発田駐屯地の見学、会津藩邸での別き肴、清水園での大村会長、木川専務理事の講話等、新発田市内各所を舞台にした分科会は参加された青年部会員の思い出の1ページになったのではないでしょうか？

又、新発田ベルナールでの大懇親会では一番の盛り上がりで、北陸信越内各単位から参加された各単会会員同士及び、商青連役員との親睦が十二分に計られた事と思います。

今ブロック大会は、北陸信越商工会議所青年部連合会設立後初めてのブロック大会でもあり、意義あるブロック大会であった様に思います。

商青連　大村会長、木川専務理事の格段ある御指導の賜物で立派なブロック大会が開催され北陸信越ブロック代表幹事として深く感謝申し上げると共に主管された新発田商工会議所青年部の皆さん御苦労様でした。

今後とも北陸信越ブロックを宜しく御願い申し上げます。